

# 【補足資料】 IAT Automobile Technology Co., Ltd. との合併会社設立に関する基本合意のお知らせ

急速に拡大する中国EV市場への本格参入に向けて

2023/9/4

株式会社リョーサン





- 今般、リョーサングループは、中国最大の独立系自動車エンジニアリング会社であるIAT Automobile Technology Co., Ltd.(以下IAT社)と合併会社設立に関する基本合意を締結。
- 世界最大の中国EV市場に於いて基幹部分のプラットフォーム化が急速に拡大する中、IAT社が有する国内自動車メーカーやTier1(※)企業等顧客基盤を対象に、リョーサングループが長年培ってきた電子部品知見、車載関連ビジネスノウハウを活用し、プラットフォーム化に必要な電子部品を提供。
- エレクトロニクス商社の枠組みを超え、エンジニア会社知見と当社知見を融合し、系列を超えたEVプラットフォームを提供する、新たなビジネスモデルの創出を目指す。

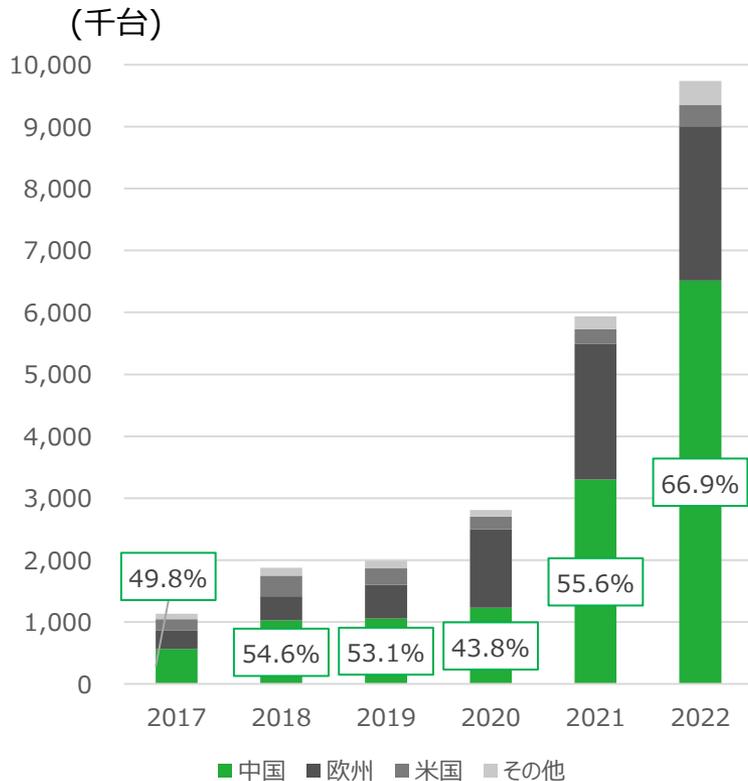
※自動車メーカーに直接納入する部品メーカー

社名	しせん しんせいき かぎ ゆうげんせきにんこうし <b>四川芯世紀科技有限責任公司</b>
所在地	中華人民共和国四川省成都市
代表者	董事長 宣奇武
事業内容	半導体・電子部品卸売
資本金	5,000万人民元
出資比率	IAT社 60%、リョーサングループ 40%



- 中国は世界最大のEV市場（22年度グローバルシェア67%）。
- 新エネルギー自動車の更なる普及が見込まれており、同自動車普及率は35年には50%と予想されている。

## 世界の新エネ乗用車販売台数の推移



出所：マークラインズのデータを元に弊社作成

## 「ロードマップ2.0」の主要目標

自動車市場規模		25年	30年	35年
自動車市場規模 (百万台)		32	38	40
車種別 構成	ガソリン車	40-50%	15-25%	0%
	HEV	5-10%	20-25%	40-45%
	新エネ車	20%	40%以上	50%以上

出所：上記表はマークラインズ「中国エネルギー車・NEV技術ロードマップ2.0：グリーン社会に向けて炭素排出量を抑制へ」を元に弊社作成 (2021/4/20)  
[https://www.marklines.com/ja/report/rep2142\\_202104](https://www.marklines.com/ja/report/rep2142_202104)

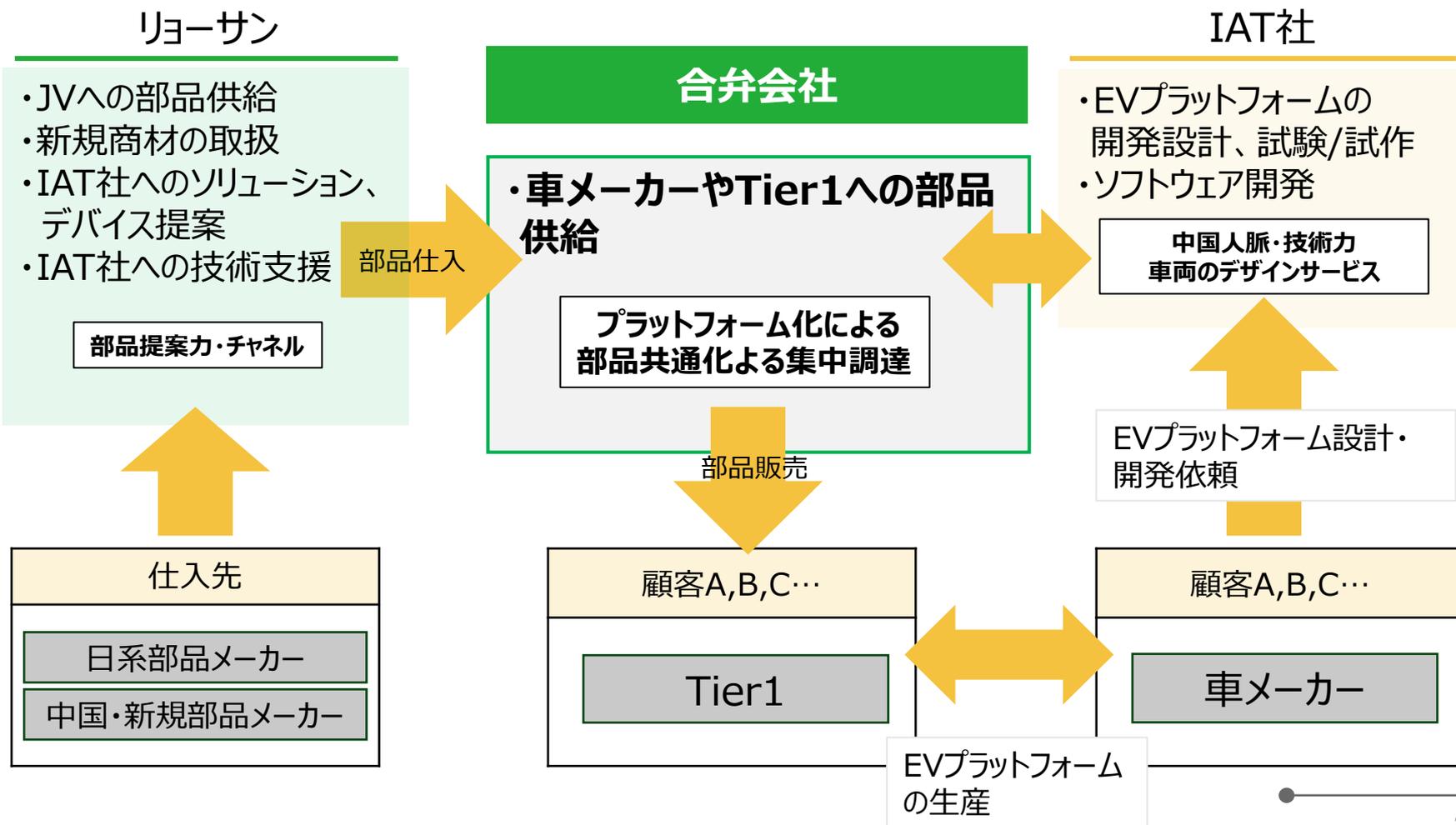
- 2020年10月に業界シンクタンクの中国汽車工程学会が「省エネ・新エネ技術ロードマップ2.0」を公表。
- 2035年までにガソリン車をゼロとする目標を発表。



RYOSAN

# 両社の役割

IAT社は中国国内自動車メーカーに対してEVプラットフォームの開発・設計等サービスを提供。リョーサングループは、同設計に基づきメーカー各社が生産するのに必要な電子部品を合併企業に対し提供。加えて、新規商材の紹介、ソリューションやデバイス提案等を行う。





## 両社の出資目的とリョーサンにとってのビジネス上の意義

リョーサングループとして、世界最大のEV市場への参入案件として部材取扱い以外に新規顧客開拓・商材開拓等多岐に亘る投資効果を想定。リョーサングループが培ったノウハウを最大限に活かした投資案件としてビジネス上の意義大。

### リョーサン

- 中国自動車市場ニーズの集約による、既存サプライヤーに対する当社付加価値の向上
- IAT社が有するソリューションや事業基盤を活かしたビジネス機会の創出
- 新たなサプライヤー商材の拡充
- 先行している中国EV市場動向の情報取得

### IAT社

- 個別の設計受託ビジネスから脱却、プラットフォームの設計領域への展開
- 関連部品の安定確保とグローバルサプライヤーとの取引拡大により、中国自動車メーカーとのリレーションを深化
- これら実現にあたり、協業パートナーが必要

戦略的  
意義

- ☑ 日系エレクトロニクス商社としての初めての中国EVサプライチェーンへの本格参入
- ☑ 50年に亘る中華圏ビジネス展開で培った中国企業からの信頼の結実
- ☑ リョーサンが長年培った車載エレクトロニクス分野の知見・ノウハウの横展開成功モデル

## リョーサングループの事業戦略について



RYOSAN

# 中華圏ローカル事業施策における位置付け

- 地場半導体商社の連結子会社化や、地場Sierへの出資を経て、グループ一体運営を展開し、自律的に中華圏ローカルビジネスを拡大。今回のIAT社とのJV設立に加え、菱洋エレクトロ社との経営統合により、新たなビジネス展開を通じて、商圈拡大を加速化する。

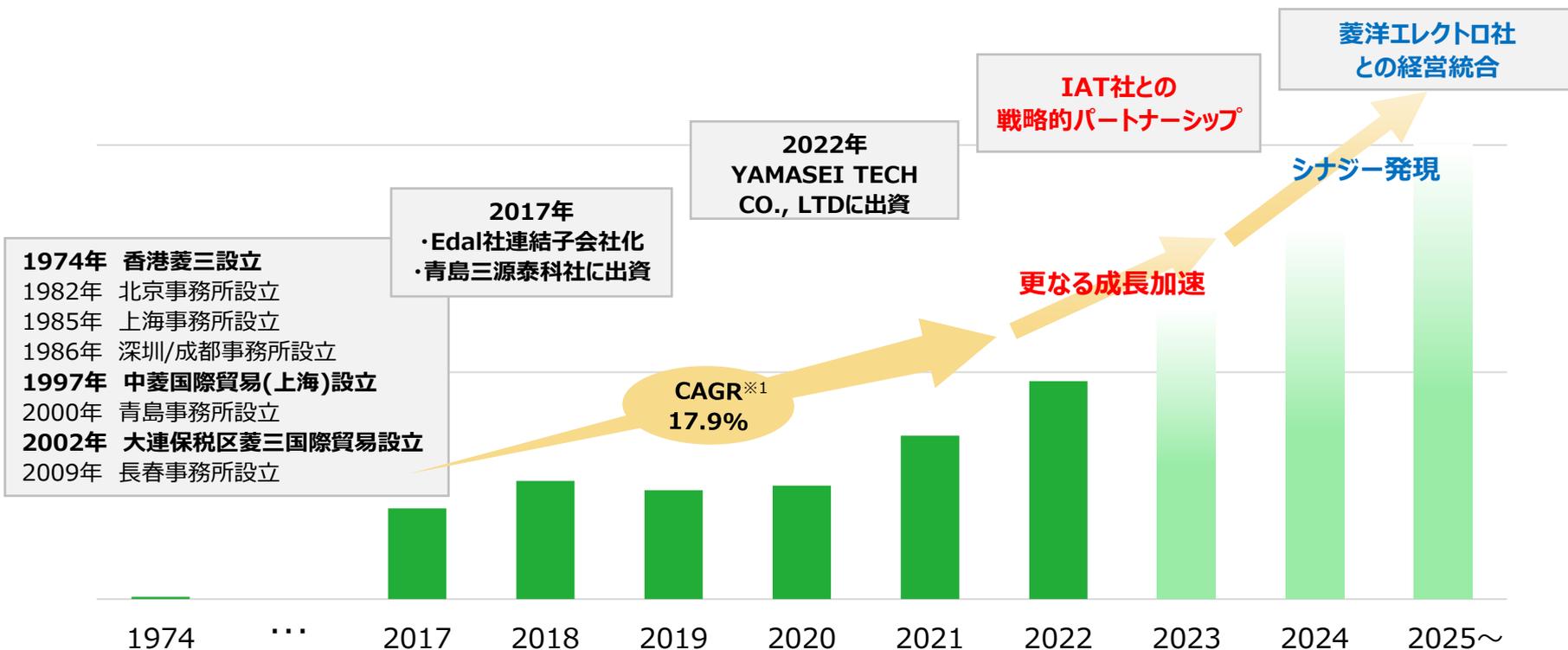
## 中華圏ローカルビジネス売上高推移

※1 2017-2022年度の年平均成長率

サプライヤー主導によるビジネス拡大

自律的なローカル商圈拡大

新たなビジネス展開  
商圈拡大の加速化





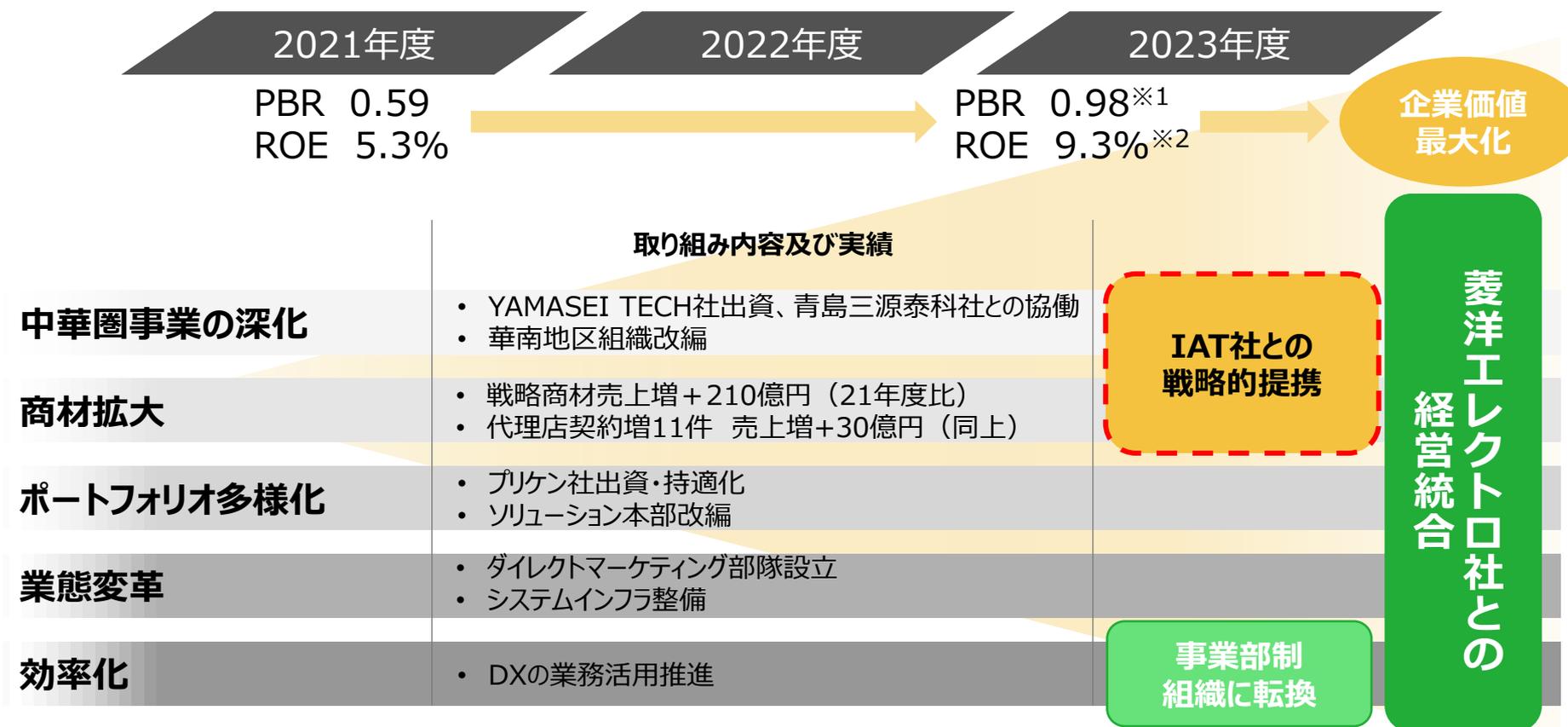
RYOSAN

# 中計全社施策における位置づけ

中計施策の実践を通じた事業拡大の結果、企業価値向上を着実に実現。今回のIAT社との戦略パートナーシップを新たな打ち手に加え、中長期的に更なる価値向上を図る。

## 第11次中期経営計画（2021－2023年度）

※1 23/6月末、※2 23/3月末



# Appendix

IAT社は、中国最大の独立系自動車エンジニアリング会社。自動車完成車の設計、自動車部品の設計・開発、技術サービス（試作・評価）等を手掛ける。

商号	<b>IAT Automobile Technology Co., Ltd.（阿爾特汽車技術股份有限公司）</b>
所在地	中華人民共和国北京市
代表者	董事長 宣奇武
事業内容	自動車完成車の設計、自動車部品の設計・開発、技術サービス（試作・評価）等
資本金	49,743万人民元
設立	2007年5月23日
大株主	阿爾特（北京）投資顧問有限公司 (13.48%)

### <IAT社の特徴>

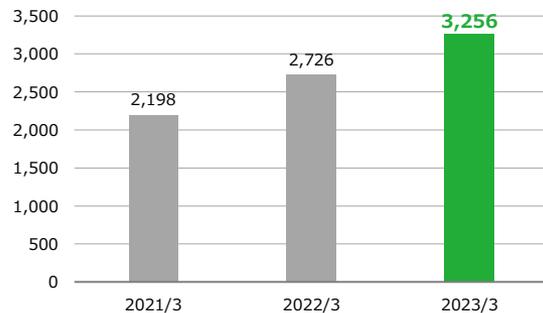
- ❑ 最先端技術を持つ国際的なリーディングカンパニー
- ❑ 国家レベルの工業デザインセンター(\*)
- ❑ 唯一の深圳証券取引所上場エンジニアリング会社
- ❑ 世界最強のデザイン、技術設計、ソフトウェア開発チームを抱え、総勢2,500名超の技術者を有す
- ❑ 100社以上の大手・新興自動車メーカーと幅広く業務連携。500件以上の開発、データベース構築実績を有す

(\*)車輻のデザインから試作、テストまで一連の開発業務を担う機能を指す。

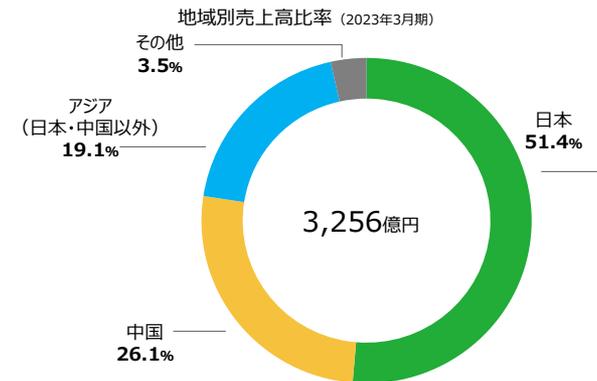
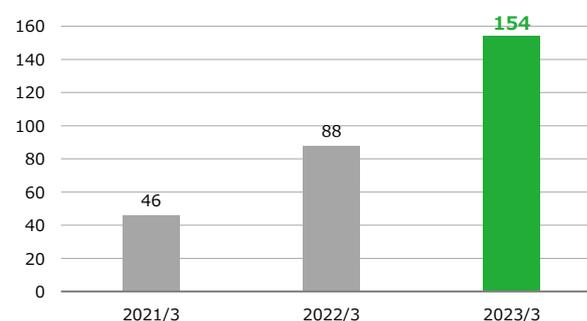
商号	株式会社リョーサン Ryosan Company, Limited
本社	東京都千代田区東神田二丁目3番5号
代表者	社長執行役員 稲葉 和彦
事業内容	半導体・電子部品・電子機器の販売
資本金	17,690,508,514円
創立	1953年11月18日
上場	東京証券取引所プライム市場 (証券コード：8140)

- 創業1947年の半導体大手老舗商社。会社設立1953年、本年11月で、創立70周年。
- 自動車向けを中心に強固な顧客基盤をベースに事業拡大。
- 100名を超える専門性の高い技術陣を抱える。
- 国内外に40か所以上のネットワークを展開。中華圏への進出は1974年（業歴50年）。

売上高

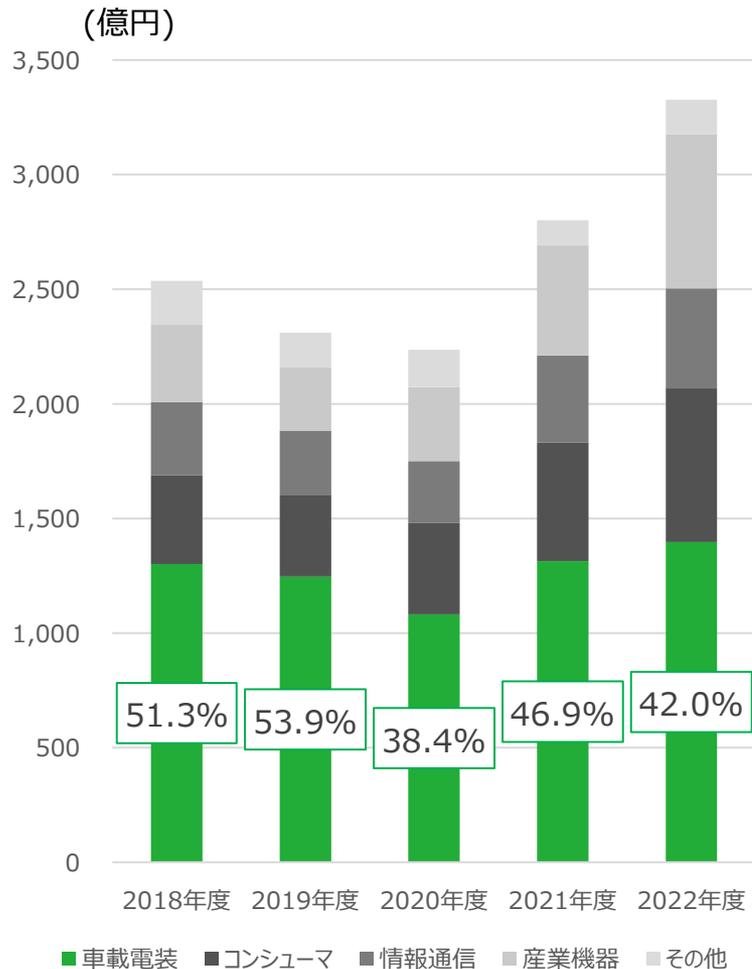


営業利益



自動車分野に強み、豊富な商材ラインナップと日系大手顧客とのリレーションシップを有し、車載関連開発にも注力。

## マーケット別売上推移



## 車載向け商材

- ルネサスエレクトロニクス(株)
- セイコーエプソン(株)
- アルプスアルパイン(株)
- フジプレアム(株)
- 凸版印刷(株)
- Winbond Electronics Corporation
- 日本航空電子工業(株)
- Macronix International Co., Ltd. 等

## 自動車関連プロジェクト参加実績

### <参加団体>

一般社団法人JASPAR (Japan Automotive Software Platform and Architecture) 準会員

### <車載関連開発実績>

- パートナーとの協業によるAD/ADAS向けソリューションの取組み
- マイルドHV向け48VDCDCコンバータリファレンス
- 車両内無線映像転送ソリューション
- ミドルウェアの提供
- 機能安全、セキュリティ技術
- 車載向けソフトウェア開発(IVI、BCM、DMS、OTA、車両内通信)

